

# 屋内消火栓設備の使い方

—2人以上で操作するもの編—



①



それでは屋内消火栓設備の紹介をしたいと思います。  
屋内消火栓設備をざっくり言うと消火器のパワーアップ版です。  
ポンプの力を使い水で消火する設備です。

# 屋内消火栓の消火能力



②



屋内消火栓設備の消火能力は非常に高く消火器で消せない壁や天井に燃え移っている火災に対しても対応できる設備です。その反面放水するときに正しい操作方法、正しい姿勢をとらないと怪我をしてしまう恐れがあるのでしっかりと覚えましょう。

# 屋内消火栓設備の種類

屋内消火栓設備は



2種類に分類される

③



屋内消火栓設備は2種類に分類されます。  
ひとりで操作できるものと  
2人以上で操作するものに分けられます。

# 2人以上で操作するものの編



④



今回はここに設置されている2人以上で  
操作するものを説明します。



# 役割設定



⑤



2以上で操作するものを使用する際は  
まずは、役割を設定しましょう。  
放水する人、バルブを操作する人、  
伝令する人を設定しましょう。

# ① 起動ボタンを押す



⑥



①起動ボタンを押します。先ほども説明しましたが製造メーカーによって起動ボタンの位置は変わります。  
発信機のベルをかねているタイプ  
扉を開け中に起動ボタンがあるタイプ  
がありますので設置されている屋内消火栓設備を確認しておきましょう。

## ② 扉を開ける



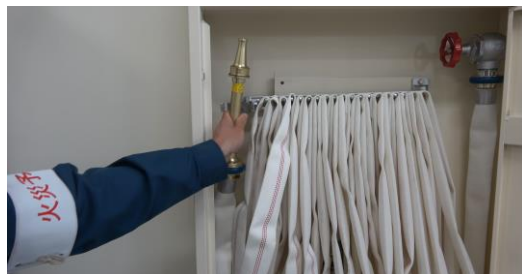
⑦



②扉を開けましょう

### ③ ホースを延ばす

筒先を取り出します



筒先が置かれていた爪を外します



筒先を持ちホースを抱え出火場所に向かいます



ホースがきれいに延びるように補助しましょう

⑧



### ③ホースを延ばす

設置されている筒先を取り出し一旦地面に置きます。  
次に筒先が置かれていた爪を外しホースを取り外します。  
次に筒先を持ちホースを抱え出火場所に向かいます。  
またホースを抱えて搬送することが難しいと感じた場合は  
筒先だけを持って出火場所に向かいましょう。  
ホースが折れると水の通りが悪くなるのでバルブを操作  
する人はきれいに延ばせるように補助しましょう。



# ④ 伝令する人の確認



⑨



#### ④伝令する人の確認

1つ角があるとバルブを操作する人から放水する人が見えないので伝令する人に準備が整ったかどうか確認しましょう。

先ほども言いましたが放水する人が準備できていない時に放水してしまうと怪我をしてしまうので確認は怠らないようにしましょう。

# 正しい放水体勢



グッとしっかりと握り



ビシッと足を張って



前傾姿勢で構えて放水する



10



グッとしっかりと握り



ビシッと足を張って



前傾姿勢で構えて放水する

屋内消火栓設備は高水圧で放水するため反動が大きくなります。そのため正しい放水体勢を取らないと怪我をしてしまう恐れがありますので正しい放水体勢を身につけることが重要となります。分かりやすく言いますとノズルをグッと強く握り、足をビシッと張って前傾姿勢で構えて自分の体重で放水の水圧に耐えるイメージです。